

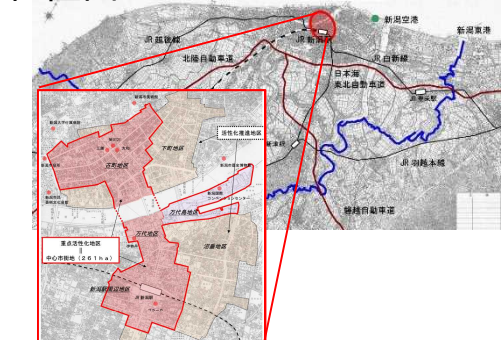
# スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現 (新潟市スマートシティ協議会)

1

- ・地域に潜在する価値「ヒト・モノ(場所)・情報(文化)」を活性化するデータ利活用インフラの実装により、地域と来街者の交流を促す**クリエイティブシティを実現**する。
- ・これまでの取組みを通じ、地域のエリアマネジメントや様々な取組みとのつながりが構築されており、今後は「**スマートシティ運営法人**」の設置により**スマートシティの確実な実装**を目指す。

## ■ 対象区域の概要

- 名称:新潟市中心市街地
- 面積:261ha
- 人口:16,449人(R2.4.30現在)



## ■ 都市の課題

### 地区の現状

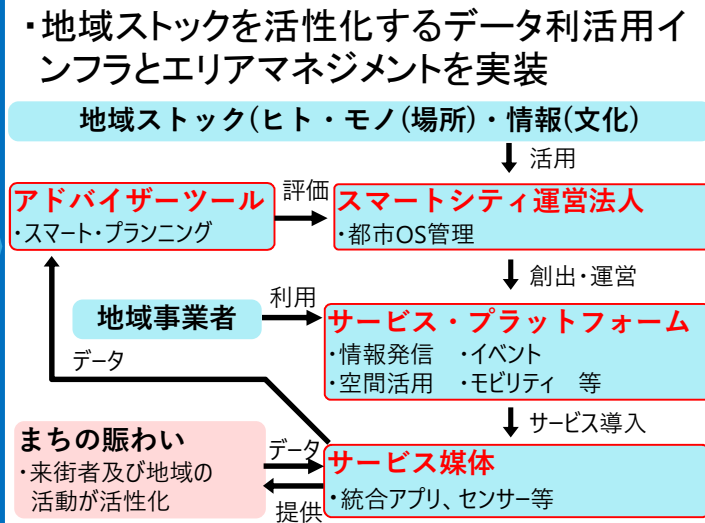
- ・来街者減少による賑わい低下
- ・一方で優良ストックが多数潜在

### 課題

- ・既存ストック(ヒト・モノ(場所)・情報(文化))の最大活用
- ・点在するストックを結びつけるモビリティ環境の整備
- ・地域や民間による自発的、独創的なコンテンツの創出

## ■ 解決方法

※赤字部分の実装を目指す



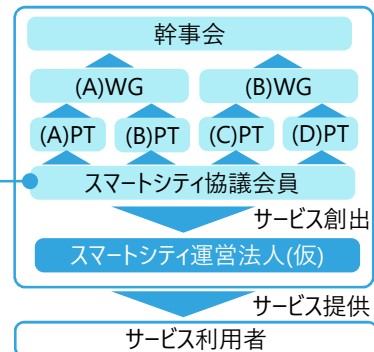
## ■ 運営体制

### 協議会構成員

技術提供	民間企業・団体 (27団体)
地方自治体	新潟市
地域におけるスマートシティの担い手	古町:新潟古町まちづくり(株) ※都市再生推進法人 新潟駅・万代:検討中
有識者	新潟大学、 事業創造大学院大学

### 運営体制

※PT:プロジェクトチーム  
※WG:ワーキンググループ



## ■ KPI(目標)

区域の目標	プロジェクト全体のKPI	目標値(R4年度)
来街者の視点 回遊性の向上及び来街者の満足度やQOL向上	主要箇所における歩行者数・来街者数	R1年度比約3%増加
	区域内の一人あたり滞在時間	2022年度まで 毎年前年度以上を維持
	区域内の一人あたり立寄り箇所数 (参考)アンケート調査による来街者の満足度	※計測方法等を精査
地域・事業者の視点 まちなかならでの自発的・独創的コンテンツの充実	区域内の空家・空き店舗の自発的な活用件数	2022年度まで 毎年前年度以上を維持
	公共空間を利用したイベントの自発的な実施回数	
	地域企業等による自発的な統合アプリの活用件数 (参考)区域内における消費額の増加割合	※計測方法等を精査

# スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現 実行計画

2

- ・統合アプリ,スマート・プランニング,タッチポイントを基盤に地域ストックを活かす様々なサービスプラットフォームを実装。
- ・スマートシティ運営法人の設置により、現行の取組みについては**R5年度からの本格実装**を目指す。
- ・実装された基盤やサービス・プラットフォームを通じ、地域と来街者の交流を活性化し、まちの賑わいを創出する。

## スマート・インセンティブ **R3検討**

地域の特性を活かした多様なサービスを来街者の手元に

### 地域との連携

商店街や観光・MICE団体と連携

花街文化



マンガ・アニメ

## スマート・ウェルネス **企画検討中**

健康・美容につながるアクティビティや食等の地域ストックを来街者に発信

### 地域との連携

商店街、有識者、医療団体との連携を予定

食文化



- 来街者
- 地域事業者・団体
- スマートシティコミュニティ
- サービス導入
- サービス提供
- データ
- TP タッチポイント

## スマート・シティガイド **R3検討**

地域に潜在する伝わりにくい魅力を積極的に来街者に発信

### 地域との連携

地域ガイド団体と連携

R2導入  
⇒ R3検討(発展)

統合アプリ

## スマート・プランニング **R2導入 ⇒ R3発展**



道路や公園等の空間を接点とした地域と来街者の交流が活発化

## スマート・レンタサイクル **R2実証 ⇒ R3検討(発展)**

ICTの活用によりレンタサイクルの利便性が向上し、運用も効率化

### 地域との連携

レンタサイクル運営団体と連携

### 地域との連携

ICTプラットフォームを通じ、地域の魅力や人とのマッチングを促進

都心軸  
「にいがた2km」

シェアサイクルの導入

## スマート・コンテンツ **R2実証 ⇒ R3拡充検討中**

地域の特性を活かした集客コンテンツを実施し、ICTを通じて地域への波及効果を創出

### 地域との連携

商店街と連携

河川敷ワーケーション  
オフィス(R2実証)



アプリやタッチポイントを通じ、レンタサイクルの再配置や賑わい創出等、まちづくりに積極参画

## スマート・空間活用 **R3実証**

エリア内の様々なスペースの活用を促進

### 地域との連携

地域で活動する個人や団体と連携

地域による  
道路空間の活用



※1：日本海縦断観光ルートプロジェクトHP ※2：古町花街美食めぐりHP ※3：新潟市中央区役所HP ※4：新潟市食文化創造都市推進会議HP ※5：新潟市HP

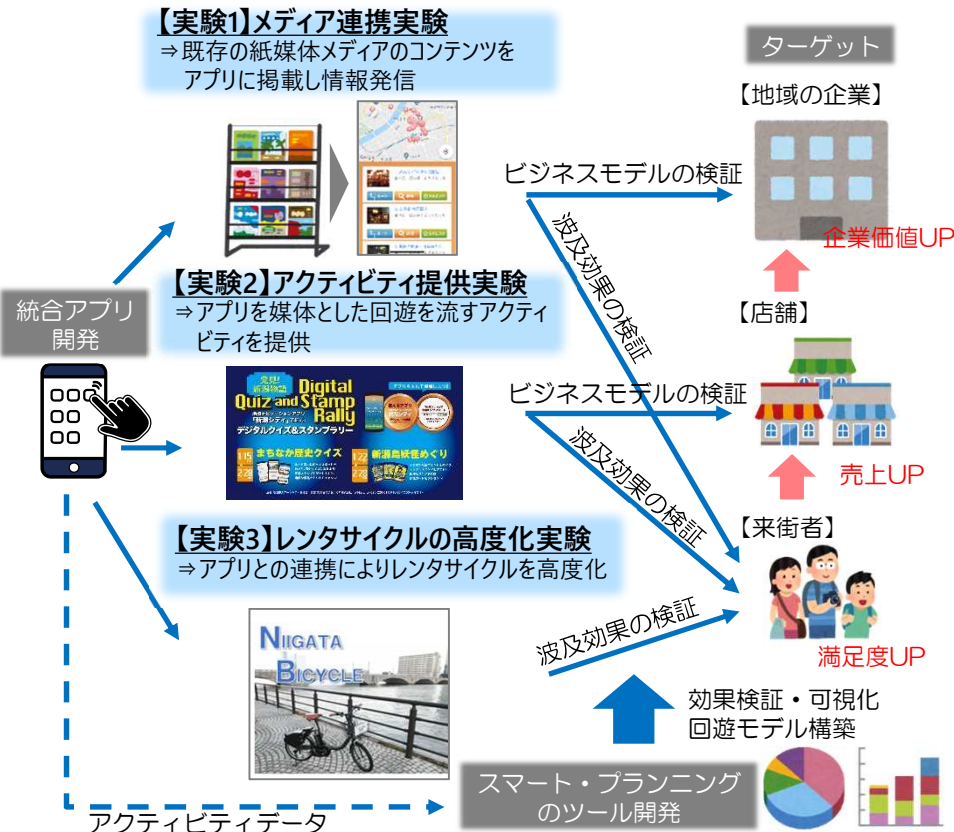
# これまで実施した実証実験の概要： 取組みの基盤部分の整備及びサービスの試行運用

- ・魅力的なコンテンツが地域主体で生み出されるまちづくりの仕組み構築を目指し、複数コンテンツの試行を通じて統合アプリの開発及びスマート・プランニングのシステム化を実施。
- ・実証実験により、本取組みの基盤部分(サービス提供媒体及びアドバイザーツール)の基礎的な整備及び一部サービスにおいて地域との連携による自走化が実現。

## ■ 実証実験の内容

取組み全体の基盤となる統合アプリ及びスマート・プランニング(実施ツール)の開発・導入

上記基盤を試行的に稼働させるためのスマートシティ・サービスの試行運用



## ■ 実証実験で得られた成果・知見

①：データ取得から分析・可視化までの基盤システムを構築

統合アプリ  
行動データ  
アプリ登録ユーザー数(R3.5.10時点)：1,281人  
有効なまちなかの回遊サンプル数(R3.2.1～R3.5.10)：1,003サンプル【ユニークユーザー数125人】

回遊性評価ダッシュボード  
回遊シミュレーションツール

### ◆(参考)実験参加者の非参加者に対する回遊性の変化分析

- まちなかの一人あたり滞在時間 **43.1%増加(↗)**
- まちなかの一人あたり立寄り箇所数 **2.4%増加(→)**
- まちなかの一人あたり総移動距離 **17.2%増加(↗)**

※実験1,2,3利用者の合算値と実験非利用者との比較  
※サンプルが限定的なため、有意性等は引き続き検証

②：実験3は地域団体との連携により本格実装(担い手確保)が実現

- ・今後は蓄積されるデータの活用により更なるサービスの高度化を図る

③：都市再生推進法人との連携が地域でのコンテンツ展開の円滑化に有効

- ・一方で個々の商店や事業者等に対する取組の認知度や接点の拡大が課題

- ・R2年度取組みを通じ、本取組みの基盤部分(サービス提供媒体及びアドバイザーツール)の基礎的な整備が実現し、本取組みが最終的に目指す方向性等が関係者間でより具体化された。
- ・一方でサービス利用者や地域の個々の事業者・団体等との連携がまだ希薄であり、今後はこれら地域のステークホルダーとの連携を拡大・強化し、「スマートシティ・コミュニティ」の形成・拡大を図る。

## ■ 実証実験で得られた課題

### R2年度取組みの成果

- ・実証実験により、目指すスマートシティの全体像を試行的に運用。
- ・全体像の基盤部分となる「統合アプリ」「スマート・プランニング」について、取組の推進に最低限必要な機能を開発。

### 実装までに残された課題

- ・取組みの核となるアプリ利用者の拡大
- ・スマート・プランニングの機能・精度向上
- ・地域参画のさらなる促進

※実装に向け取組みの加速化が必要

### 目指す到達点

- ・地域の事業者、団体、個人等が本取組で実装したサービスを活用し、自発的なサービスやコンテンツを発信
- ・スマートシティの取組が地域のエコシステムに組み込まれ、自走化

## ■ 今後の取組：スケジュール

項目	実行計画(第1期)			II (次期)
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度以降
ツール開発スケジュール				
統合アプリ	アプリ整備 機能追加	SNS連携・機能拡充	他施策との連携で 機能拡充	順次 本格稼働
スマブラ	エリア拡張 機能の拡張	他施策との連携で機能拡充		順次 本格稼働
都市OS	実行計画	各種取組みとの連動により段階的に構築		順次 本格稼働
タッチ ポイント		基盤整備	基盤拡充	本格稼働
施策導入スケジュール				
情報提供	実行計画	実証実験 (地域ガイド連携)	本格稼働 ※内容は随時拡充	
インセン ティブ	基盤整備	実証実験		本格稼働
集客 コンテンツ	実証実験 (水辺空間活用)	実証実験 (アプリ等連動)	コンテンツ拡充	本格稼働
レンタ サイクル	実証実験	運営効率・高度化	順次本格稼働	
公共空間等 の活用	実行計画	実証実験(屋外空間)	順次 本格稼働	
	実行計画	実証検討(空き家等)	実証実験(空き家等)	本格稼働
ヘルスケア	実行計画	取組企画	実証実験	本格稼働
MaaS	実証実験(別途取組み)		モビリティ 相互連携、 アプリ統合	本格稼働
モビリティ				